

科目名	憲法（人権）A Constitutional Law: Human Rights and Constitutional Rights						
科目担当者	今枝 昌浩 IMAEDA Masahiro						
単位数	2	配当年次	1 年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 基礎専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	皆さんも「人権」という言葉は知っているでしょう。それでは、人権を「憲法」によって保障するとは、一体何を意味するのでしょうか。この授業では、日本国憲法が「基本的人権」として規定している権利はどのように保障されているのか、実際の事件（裁判例）を検討・検証することで具体的に明らかにしながら、憲法が人権を保障することの意味を理解していきます。						
授業の到達目標	①人権を憲法によって保障することの意味を説明できる。 ②その上で、基本的人権が問題となる典型的な場面（事例）において、何がどのように憲法上の問題となっているのか、具体的に指摘できる。						
授業計画・内容	1	イントロダクション：憲法と立憲主義					
	2	人権総論（1）人権と憲法上の権利					
	3	人権総論（2）基本的人権の享有主体					
	4	人権総論（3）基本的人権の私人間効力					
	5	人権総論（4）公共の福祉					
	6	人身の自由：法定手続の保障					
	7	思想・良心の自由					
	8	信教の自由					
	9	政教分離原則					
	10	表現の自由（1）その歴史と意義					
	11	表現の自由（2）知る自由・権利としての展開					
	12	表現の自由（3）報道機関の自由としての展開					
	13	表現の自由（4）その限界と制約の態様					
	14	集会・結社の自由					
	15	学問の自由					
授業外学修 (事前学修)	事前にアップロードする資料（レジュメ）および教科書の該当頁に目を通しておくこと（毎週 2 時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	授業内で行った、あるいはレジュメに記載されている、問い掛けに対して自身の言葉（文章）で答えられるようにしておくこと（毎週 2 時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	授業内での「小テスト」および授業参加姿勢 定期試験					20% 80%	①② ①②
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権』第 8 版（有斐閣・2022 年）						
参考文献	芦部信喜（高橋和之 補訂）『憲法 第八版』（岩波書店・2023 年）						
その他	この授業は、指定教科書を前提としたレジュメ配布による講義を行います。また、理解状況を確認するため、折に触れて問い掛けをしたり、「小テスト」を実施します。なお、授業内での問い掛けに対する挙手による応答・発言（授業参加姿勢）は積極的に評価します。						